PFOA 及び PFOS に対する国際がん研究機関（IARC）の評価結果について

The Knights

有機フッ素化合物のうち、PFOA（パーフルオロオクタン酸）及び PFOS（パーフルオロオクタンスルホン酸）について、世界保健機関（WHO）傘下の機関である国際がん研究機関（IARC）が発がん性の評価結果を 2023 年 11 月 30 日に公表しました。IARC は、PFOA をグループ 1(ヒトに対して発がん性がある）に、PFOS をグループ 2B（ヒトに対して発がん性がある可能性がある）に分類しました。

FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議（JECFA）は IARC が行った発がん性の評価に加えて、発がん性以外の消化吸収代謝への影響や生殖毒性など様々な有害影響にも着目して「危害要因（ハザード）特性評価」を行い、さらに「ばく露評価」も合わせた「リスク評価」を今後数年以内に行う予定とされています。

食品安全委員会は、今回の IARC による発がん性分類の結果や意味について、Q&A 形式で整理し、情報提供を行いました。

なお、現在、食品安全委員会では、PFOA や PFOS を中心に、有機フッ素化合物（PFAS）を食品を通じて摂取した場合の健康影響について評価中です。発がん性を含む様々な毒性について、国内外から収集した知見を精査して見解をまとめ、その結果を、評価書として公表する予定です。

当社では、有機フッ素化合物の分析実績があります。お気軽に、お問合わせください。

資料　食品安全委員会 HP　2023 年 12 月 5 日公開
https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/pfoa_and_pfos_faq.html#q03

有機分析箇所　長谷川知草

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

PFAS の小冊子進呈中！
PFAS とは PFOS や PFOA などの有機フッ素化合物の総称で、撥水、撥油性を有し、難分解性で安定しているために、様々な製品に使用されてきました。しかし、その安定性から環境中の残留性や生体内への蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。
当社では、PFAS の規制などに関する情報を小冊子としてまとめ、希望者に進呈いたします。
お問合せはこちら